

市政アンケートモニター

くるモニ

# 調査結果報告書

令和3年度第5回調査テーマ

- ① 「体感治安の向上」
- ② 「自転車利用促進」
- ③ 「子育て支援、ワーク・ライフ・バランス」



久留米市

## I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、今後の取り組みの参考データとするために実施しました。第5回アンケートの調査概要は次の通りです。

## II 調査の概要

- (1)調査地域 ……久留米市全域
- (2)調査対象者 ……久留米市在住の満18歳以上の市民から無作為抽出した候補者の中から選任したモニター
- (3)実施方法 ……インターネット調査
- (4)調査項目 ……①「体感治安の向上」、②「自転車利用促進」、  
③「子育て支援、ワーク・ライフ・バランス」
- (5)調査期間 ……令和3年11月22日から12月5日
- (6)サンプル数 ……399
- (7)回収数(率) ……297 (74.4%)

## III 回答者の属性

■ 性別	(%)
男	34.3
女	65.7
合計	100

■ 居住地ブロック	(%)
東部	13.1
北部	14.8
中央東部	14.1
南東部	8.8
中央部	11.8
中央南部	18.9
南西部	8.8
西部	9.8
合計	100

■ 年代	(%)
20歳代以下	13.1
30歳代	17.2
40歳代	31.3
50歳代	21.9
60歳代	13.5
70歳以上	3.0
合計	100

■ 職業	(%)
農林漁業	0.67
自営業	7.07
給与所得者(常勤)	48.82
パート・アルバイト (学生は除く)	18.86
学生	3.7
家事に専念	10.77
無職	4.38
その他	5.72
合計	100

※使用した地域区分

ブロック名	対応する校区
東部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西部	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田

## IV 調査結果利用上の注意

比率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しました。このため、合計の比率が0.1~0.3%程度増減することがあります。また、2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計が100%を超えることがあります。

市政アンケートモニター「くるモニ」

## 第5回アンケート

「体感治安の向上」、「自転車利用促進」、

「子育て支援、ワーク・ライフ・バランス」

調査期間:令和3年11月22日(月)から12月5日(日)まで

久留米市では、市政に関する意識等を把握するため、市政アンケートモニター(くるモニ)を対象にインターネットによるアンケート調査を実施しています。

第5回目となる今回のアンケートでは、「体感治安の向上」、「自転車利用促進」、「子育て支援、ワーク・ライフ・バランス」の3項目について調査を実施します。

最初に、「体感治安の向上」では、安全に安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、市民の皆さんと一体となって安全安心のまちづくりを進める取組みについて、つぎに「自転車利用促進」では、自転車を利用する仕組みづくりや自転車の通行環境改善などの取組みについての認知度や意識についておたずねします。

最後に、「子育て支援、ワーク・ライフ・バランス」では、妊娠から出産・子育てに至る切れ目のない支援や、仕事と家庭生活などを両立するためのワーク・ライフ・バランスの取組みなどに関する認知度や意識についておたずねします。

モニターの皆さんからご意見をお聞きし、今後の取組みの参考にしたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をお願いします。

# 1 体感治安の向上

久留米市では、自主防犯活動への支援や、街頭防犯カメラの設置、情報発信などの防犯施策を実施し、市民の皆さまが安全に安心して暮らせるまちづくりを進めています。

## 現在の治安についておたずねします

問1 久留米市は安全なまち(治安が良い)と思いますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |                  |       |                |       |
|------------------|-------|----------------|-------|
| 1 そう思う           | 13.5% | 2 どちらかといえばそう思う | 62.3% |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 19.9% | 4 そう思わない       | 4.4%  |

問2 この数年間(2~3年)で、久留米市の治安は良くなったと思いますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |                 |       |                 |       |
|-----------------|-------|-----------------|-------|
| 1 良くなった         | 7.1%  | 2 どちらかといえば良くなった | 35.7% |
| 3 どちらかといえば悪くなった | 5.4%  | 4 悪くなった         | 0.7%  |
| 5 変わらない         | 51.2% |                 |       |
- 付問1へ

付問1 問2で、「どちらかといえば悪くなった」、「悪くなった」と回答された方におたずねします。

どのようなことで久留米市の治安が悪くなったと感じていますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 ひったくり、車上ねらい、自転車盗難などの街頭でおきる犯罪 3.4%
- 2 空き巣や特殊詐欺(振り込め詐欺)などの日常生活でおきる犯罪 2.7%
- 3 子ども・女性に対する性犯罪や不審者情報 4.7%
- 4 未成年者の飲酒・喫煙 0.3%
- 5 暴走族等の騒音 3.0%
- 6 たばこのポイ捨てやゴミなどの不法投棄 1.7%
- 7 壁・シャッターなどへの不法な落書き 1.0%
- 8 発砲事件などの暴力団犯罪 0.0%
- 9 その他(具体的に: ) 0.3%

問3 ご自身やご家族など身近な人が、日常生活において何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |                |       |               |       |
|----------------|-------|---------------|-------|
| 1 感じる          | 10.4% | 2 どちらかといえば感じる | 38.7% |
| 3 どちらかといえば感じない | 36.4% | 4 感じない        | 14.5% |
- 付問2へ

付問2 問3で、「1 感じる」、「2 どちらかといえば感じる」と回答された方におたずねします。

ご自身やご家族など身近な人が被害にあうかもしれないと不安に思う場所はどこですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

1 自宅(庭を含む)	15.2%	2 路上	34.7%	3 駐車場・駐輪場	15.5%
4 公園	14.5%	5 繁華街	17.9%	6 駅	12.1%
7 バスや電車などの乗り物の中	14.8%	8 スーパーなど商業施設内	12.1%		
9 インターネット空間・電話	20.2%	10 その他( )			2.0%

問4 安全安心なまちづくりのため、市や警察にどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

1 照明(防犯灯)などを設置してまちを明るくする事業	78.5%
2 街頭防犯カメラを設置する事業	72.4%
3 地域における防犯活動を推進するための体制や仕組みづくり	21.2%
4 地域の自主防犯活動団体への支援	14.1%
5 地域における警察のパトロール	64.3%
6 犯罪発生状況や安全に関する基礎知識などの情報提供	26.9%
7 子どもの規範意識を高める学校教育	35.4%
8 少年補導など少年の非行を防止する活動	37.4%
9 防犯教室の開催	11.8%
10 犯罪被害にあわれた方への支援	22.9%
11 防犯グッズの普及	20.5%
12 その他(具体的に: )	0.7%

問5 久留米市では主に校区単位で組織された団体や自治会等により、地域における防犯パトロールや子ども見守り活動など、自主的な防犯活動が行われています。

あなたは地域における防犯活動に満足していますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 満足している	14.8%	2 どちらかといえば満足している	66.3%
3 どちらかといえば満足していない	16.2%	4 満足していない	2.7%

問6 あなたは、地域で行われている自主的な防犯活動に参加したいと思いますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 参加したい	6.7%	2 どちらかといえば参加したい	38.7%
3 どちらかといえば参加したくない	40.1%	4 参加したくない	14.5%

### 防犯や犯罪被害に関する情報発信についておたずねします

問7 全体の犯罪認知件数が減少を続けるなか、高齢者や女性などが犯罪の被害に遭う事件は横ばいから増加傾向であり、その手口も多様化しています。最新の手口や危険な場所、とるべき行動など、犯罪発生状況に応じた情報を、ひとりでも多くの方へタイムリーに届けるために、あなたが効果的だと思う方法はどれですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 チラシ 34.3%
- 2 ホームページ 26.3%
- 3 久留米市公式 LINE 53.5%
- 4 街頭キャンペーン 28.3%
- 5 学校での啓発活動 48.2%
- 6 地域での啓発活動 43.1%
- 7 駅・商業施設内での啓発活動 31.7%
- 8 出前講座 9.1%
- 9 広報紙 46.8%
- 10 警察が提供する「携帯アプリ みまもっち」や「ふっけい安心メール」 28.3%
- 11 その他(具体的に: ) 2.4%

問8 だれもがある日突然、犯罪の被害に遭う可能性はあります。犯罪の被害に遭った後、心や体の不調に悩む人は少なくありません。犯罪被害者やその家族を支援する次の相談窓口を知っていますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 久留米市犯罪被害者総合的対応窓口(安全安心推進課) 11.5%
- 2 福岡犯罪被害者総合サポートセンター 9.1%
- 3 警察署の相談窓口 39.7%
- 4 犯罪被害者相談電話「心のリリーフ・ライン」 9.1%
- 5 法テラス(日本司法支援センター)の相談窓口 21.2%
- 6 福岡県弁護士会の相談窓口 18.5%
- 7 久留米市男女平等推進センター 23.9%
- 8 性暴力被害者支援センター・ふくおか 8.1%
- 9 性犯罪被害相談電話「#8103(ハートさん)」 10.4%
- 10 相談窓口を知らない 41.1%
- 11 その他(具体的に: ) 0.7%



— みんなで取り組む安全安心まちづくり —

**セーフコミュニティ国際認証都市 久留米市**

久留米市は、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」の仕組みを活用し、市民や地域団体の皆さんと一体となって、身の回りでおこる「けがや事故」の予防に取り組んでいます。

※これで「1 体感治安の向上」についての質問を終了します。  
次からは「2 自転車利用促進」についてお伺いします。

## 2 自転車利用促進について

久留米市では、環境負荷が少なく、健康づくりにもつながる自転車を活用し、市民や観光客等が安全で快適に、そして気軽に市内を移動できるような「自転車が似合うまちづくり」の実現に向けて「久留米市自転車利用促進計画」を策定し、自転車を利用する仕組みづくりや自転車の通行環境改善などの取り組みを進めているところです

### 自転車の利用状況についておたずねします

問1 日常生活におけるあなたの主な移動手段は、何ですか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |                            |       |       |      |        |      |
|----------------------------|-------|-------|------|--------|------|
| 1 徒歩                       | 8.4%  | 2 自転車 | 9.4% | 3 二輪車  | 1.7% |
| 4 バス                       | 2.7%  | 5 鉄道  | 2.4% | 6 タクシー | 0.7% |
| 7 マイカー(エコカー:ハイブリッド車・電気自動車) | 26.3% |       |      |        |      |
| 8 マイカー(エコカー以外)             | 48.5% |       |      |        |      |
| 9 その他( )                   | 0.0%  |       |      |        |      |

問2 あなたは、自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |               |       |               |       |
|---------------|-------|---------------|-------|
| 1 ほぼ毎日        | 9.1%  | 2 1週間に3から4日程度 | 4.7%  |
| 3 1週間に1から2日程度 | 4.7%  | 4 1ヶ月に数日      | 11.8% |
| 5 1年に数日       | 19.9% | 6 利用しない       | 49.8% |

問3 あなたが自転車を利用する目的は、何ですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- |              |       |               |       |         |      |
|--------------|-------|---------------|-------|---------|------|
| 1 通勤         | 13.1% | 2 通学          | 2.4%  | 3 仕事・業務 | 9.8% |
| 4 買物         | 39.4% | 5 通院          | 2.7%  | 6 習い事・塾 | 2.4% |
| 7 サイクリング(娯楽) | 12.8% | 8 スポーツ(自転車競技) | 0.3%  |         |      |
| 9 健康維持・増進    | 12.5% | 10 その他( )     | 31.0% |         |      |

### 自転車の利用環境についておたずねします

問4 現在、自転車で通行する道は走りやすいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- |                    |       |                 |       |      |
|--------------------|-------|-----------------|-------|------|
| 1 走りやすい            | 7.7%  | 2 どちらかといえば走りやすい | 20.5% | 付問1へ |
| 3 どちらかといえば走りやすすくない | 42.1% | 4 走りやすすくない      | 29.6% | 付問2へ |

付問1 問4で、「走りやすい」、「どちらかといえば走りやすい」と回答された方におたずねします。

自転車で通行する道が走りやすいと思う理由は何ですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 路面に案内表示(青色の矢印(以下、矢羽根)など)があり、走る位置が分かりやすい 8.8%
- 2 十分な道幅がある 11.5%
- 3 路面のデコボコが少ない 13.1%
- 4 他の自動車との接触の不安が少ない 3.4%
- 5 歩行者との接触の不安が少ない 4.7%
- 6 その他( ) 1.7%

付問2 問4で、「どちらかといえば走りやすくない」、「走りやすくない」と回答された方におたずねします。

自転車で行く道が走りやすくないと思う理由は何ですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 どこを走ったらいいか分からない 15.8%
- 2 道幅が狭い 51.9%
- 3 路面がデコボコである 36.0%
- 4 他の自動車と接触しそうで危険である 35.7%
- 5 歩行者と接触しそうで危険である 34.0%
- 6 路面の案内表示(矢羽根など)が連続していない 9.8%
- 7 その他( ) 4.4%

問5 あなたは、自転車をとめる駐輪場がどのような施設にあれば便利だと思いますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- |                               |                         |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 公共施設(市役所等) 50.8%            | 2 商業施設(百貨店等) 55.6%      |
| 3 鉄道駅 66.0%                   | 4 バス停 50.2%             |
| 5 教育施設(学校、学習塾等) 29.3%         | 6 金融機関(銀行、郵便局等) 37.0%   |
| 7 公園 37.4%                    | 8 飲食店街 32.7%            |
| 9 商店街 37.4%                   | 10 文化施設(図書館、美術館等) 35.0% |
| 11 校区の共用施設(コミュニティセンター等) 28.3% | 12 職場 17.2%             |
| 13 その他( ) 2.4%                |                         |



## 自転車利用のルールについておたずねします

問6 自転車を利用するときの主なルールとして、自転車の安全利用のための5つの原則があります。このルールのうち、以下の項目のあなたの認知度及び遵守についてお答えください。  
(あてはまる番号に1つだけ○印)

	ルールを知っており、いつも守っている	ルールを知っており、ときどき守っている	ルールは知っているが、ほとんど守っていない	ルールは知っているが、自転車に乗らない	ルールを知らなかった
「自転車の通行は車道が原則であり、歩道は例外」を守っていますか。	34.0%	30.6%	7.7%	23.2%	4.4%
「車道は左側を通行」を守っていますか。	50.5%	22.2%	2.7%	22.6%	2.0%
「歩道は歩行者優先で、車道寄り徐行」を守っていますか。	46.1%	23.6%	2.7%	20.5%	7.1%
「飲酒運転禁止、夜間時のライト点灯、信号遵守」を守っていますか。	67.0%	8.1%	1.4%	23.2%	0.3%

問7 福岡県では、令和2年10月1日から、自転車利用者に自転車保険(自転車損害賠償保険等)への加入が義務化されていますが、知っていますか。  
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 知っている。自転車に乗るため、保険に加入している。 38.7%
- 2 知っている。自転車に乗っているが、保険に加入していない。 10.4%
- 3 知っている。自転車には乗るが、保険に加入しているか分からない。 3.4%
- 4 知っている。自転車に乗らないため、保険に加入していない。 32.3%
- 5 知らなかった。 15.2%

## 自転車の利用促進についておたずねします

問8 自転車に関するどのようなイベントを実施してほしいと思いますか。  
(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 サイクリング(短距離) 21.9%
- 2 サイクリング(長距離) 11.8%
- 3 自転車レース(ロードレース) 8.4%
- 4 自転車レース(マウンテンバイク) 4.7%
- 5 まちめぐり 46.5%
- 6 子どもの自転車教室(補助輪を外す練習など) 43.1%
- 7 色々な種類の自転車の乗車体験(例:4人乗れる自転車、手で漕ぐ自転車) 18.5%
- 8 その他( ) 9.4%

問9 久留米市では、令和3年6月よりコミュニティサイクル「くるくる」を西鉄久留米駅(東町地下自転車駐車場)、JR久留米駅(JR久留米駅東口自転車駐車場)で貸し出しています。1日貸し、1ヵ月定期貸しのプランがありますが、知っていますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 知っている。日常的に利用している 0.3%
- 2 知っている。ときどき利用している 1.0%
- 3 知っている。何度か利用したことはある 2.7%
- 4 知っているが、利用するつもりはない 48.8%
- 5 「くるくる」のことを知らなかった 40.4%
- 6 その他( ) 6.7%

問10 自転車の利用機会をより増やすためには、どのようなきっかけが必要だと思いますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 安全で快適な道路整備 79.1%
- 2 止めやすい場所に駐輪場がある 63.3%
- 3 サイクリング環境が整っている 33.3%
- 4 自転車の通勤制度が充実している 18.9%
- 5 自転車のメリットを深く知る 13.1%
- 6 自転車利用者全体のマナーアップ 47.5%
- 7 シェアサイクル(自転車の共同利用)の充実 23.2%
- 8 その他( ) 2.4%

問11 久留米市の自転車利用について、ご意見やご提案があれば自由にご記入ください。

(2,000字以内)

回答欄:テキスト形式

[ ]

※これで「2 自転車利用促進」についての質問を終了します。  
次からは「3 ワーク・ライフ・バランス、子育て支援」についてお伺いします。

## 3子育て支援、ワーク・ライフ・バランスについて

久留米市では、共働き家庭等の増加による保育ニーズ、子育て家庭が抱える不安や悩み、子育て支援ニーズの多様化などに対応することにより、安心して子どもを生ま育てられる環境づくりを行っています。

今後も、全ての子どもが夢や希望をもって成長できる「子どもの笑顔があふれるまちづくり」のために、子ども・子育て支援に取り組んでいきます。

### 子育て支援についておたずねします

問1 久留米市は、安心して子どもを生ま育てられるよう、妊娠から出産、育児に至るまで切れ目のない支援の充実や、子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくりを行っています。そこで、おたずねします。久留米市では、子育て支援体制が充実してきたと感じますか。

(あてはまる番号に1つだけ○)

- |                  |       |                 |       |
|------------------|-------|-----------------|-------|
| 1 そう感じる          | 12.5% | 2 どちらかといえばそう感じる | 59.3% |
| 3 どちらかといえばそう感じない | 18.5% | 4 そう感じない        | 9.8%  |

### 久留米市の子育て支援

主な取り組み	内容
子ども総合相談窓口	「子どもの総合相談窓口」において、子どもや子育て家庭の様々な相談に応じて支援につなげています。
妊娠期の面接・相談の実施	すべての妊娠届出受付時に、窓口で保健師・助産師による面接やアンケートを行い、必要な支援を実施しています。
産後ケア事業	産婦の心身の不調や産後うつなどを防ぐため、市内の産婦人科や助産所等で、宿泊または日帰りで母子のケア、授乳指導、育児指導を受けることができるサービスを行っています。
産前産後サポート事業	多胎（双子など）妊産婦の方を対象に、ピアサポーター（多胎児育児経験者）が病院や自宅などを訪問し、妊娠中の過ごし方や子育ての仕方など、多胎児育児経験にもとづいたアドバイスを行っています。
産婦健康診査の助成	産後うつを発症しやすい産後の初期段階に、母親の心身の健康状態や子どもの発育状況を確認し、早期支援につなげるため、産後2週間および1か月健診の費用助成を行っています。
新生児および妊産婦訪問の実施	新生児および妊産婦の家庭を保健師等が訪問し、安心して出産・育児に臨むことができるよう支援しています。
育児・家事援助や訪問支援の実施	ヘルパーによる育児・家事の援助や保育士・保健師による訪問支援を行っています【エンゼル支援訪問事業】。
子育て家庭の交流や相談の場の提供	子育て家庭が気軽に利用できる、子育て交流プラザくるるん、地域子育て支援センター（9か所）、児童センターを運営しています。
ファミリー・サポート・センター	保育園・幼稚園・学童保育所への子どもの送迎や、保護者の就労・通院などの際の子どもの一時預かりなどを希望する保護者へ、地域のボランティア会員を紹介しています。
病児保育の実施	市内5か所の医療施設、5か所の企業主導型保育施設で、小学校6年生までの病児または病気回復時の児童の一時的な預かりを実施しています。
子ども医療費の支給	中学3年生までの子どもに対して、通院・入院医療費の負担額の全額または一部を助成しています。

主な取り組み	内容
保育料の軽減	保育認定の子どもの保育料を約35%軽減しています。
完全給食の実施	市内すべての保育所、認定こども園において、全年齢の保育認定子どもに主食（あたたかいご飯）の提供を行っています。
学童保育の実施	市内全小学校区（44校区）での預かりを実施しています。令和3年度の夏休みより、開所時間を8時に前倒しました。
子ども食堂の実施	市民団体等が食事の提供を通じ、子どもと地域がつながる場の提供を行う「子ども食堂」の実施に対し補助を行っています。
新型コロナが長期化し不安や経済への影響がある中でも、安心して出産、子育てができるよう、また子どもたちが笑顔で過ごせるよう支援しています。	
妊娠出産応援給付金	令和2年度・令和3年度中に出産または出産予定の人に、赤ちゃん1人あたり5万円を給付しています。
子どもの笑顔給付金	多子・多胎世帯（1世帯3万円）、長期にわたり療養が必要な子どもや障害がある子どもがいる家庭（子ども1人あたり5万円）について、給付金を支給しています。
緊急事態宣言中の保育所・学童保育所等の開所	緊急事態宣言期間中においても感染防止対策を行って、保育所等を開所し、保護者の就労支援を行いました。

## ワーク・ライフ・バランスについておたずねします

問2 久留米市は、男女がともに仕事と家庭生活などを両立できるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するための取り組みを行っています。そこで、おたずねします。久留米市では、ワーク・ライフ・バランスを実現する環境づくりが進んでいると感じますか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- 1 そう感じる 3.7%                                      2 どちらかといえばそう感じる 39.4%  
3 どちらかといえばそう感じない 40.7%                                      4 そう感じない 16.2%

## 久留米市のワーク・ライフ・バランスに関する主な取り組み

主な取り組み	内容
「働き方改革」推進事業の実施	企業における長時間労働の削減やワーク・ライフ・バランスを実現する働き方改革を推進するため、商工会議所などの経済団体が主体となって働き方改革のセミナーや勉強会を行っています。
ワーク・ライフ・バランス推進セミナーの実施	仕事と生活が両立可能な社会の実現のために、企業等を対象にセミナーを実施し、第1人者による講演や取組を支援する事業紹介を行っています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためにテレワークを導入する企業向けのセミナーなども行っております。
企業訪問の実施	ワーク・ライフ・バランスに関する制度などの情報提供、啓発を行っています。

ご多忙のところ調査にご協力いただき、ありがとうございました。

